

本文 体裁上のお願い (テンプレートより一部抜粋)

3. 文字の組み方

3.2 本文の作成

大見出し：10 pt, MS ゴシック, 1 字下げ, 2 行どり
(「書式」「段落」「間隔」で「行間 2 行」に設定)。

小見出し：9 pt, MS ゴシック, 上下の行は空けない。

大見出し・小見出しを行末に入れない。

単位系：原則として SI 単位系。数字と単位との間は半角から 1/4 スペース (「書式」「挿入」「記号と特殊文字」の「特殊文字」を選択して挿入可能。ただし平面角の度「°」はスペースを入れない (ほかには分「'」, 秒「"」もスペースを入れない), 「°C, %」の前には半角スペースを入れる), 変数はイタリック表記が望ましい。

小見出しも、1 文字下げでお願いいたします。

大見出し・小見出しの配置の確認をお願いいたします。

数字と °C、数字と % の間には半角スペースを入れてください。

4. 図・写真・表について

4.1 図・写真

図番号, 図説明, 図中文字は英文, 9 pt, 行間は固定値 12 pt で, 図下に図から 3~4 mm 離してつける。本文での図引用時は (初出のみ) 太字 (Fig. 1) とする。図中の文字は本文より小さく 8 pt で罫の太さは 0.25 pt 以上とし, かすれないようにする。

図・写真は画像を画面に取り込むか (★), 画像データがない場合でスキャン希望の場合は図・写真原稿を添付する。

(★) 図は画像ファイルを「挿入→図」で取り込む。画像ファイルは TIFF ファイルが望ましい。PPT 画像は TIFF ファイルに保存してから挿入など。掲載時に印刷用 PDF を作成する際, 画像・文字等の不具合が生じにくいため。画像・キャプションレイアウトは「四角」が望ましい。

4.2 表

表番号, 表説明, 表中文字は英文, 9 pt, 行間は固定値 12 pt。タイトルは表の上, 左右中央に入れる。長いタイトルは図と同じように字下げをしないで続ける。表の大きさはレイアウトに空きができないように片段 (左右 84 mm 以内) または全段 (170 mm 以内) にすることが望ましい。表の挿入を使用して表を作成するか, 貼りこんでもよい。本文での表引用時は (初出のみ) 太字 (Table 1) とする。

初出のみ太字でお願いいたします。

4.3 図表の配置

図表はタイトルページに入れない。また参考文献の末尾に付録のように配置しないこと。

片段最大 84 mm, 全段最大 170 mm に収める。

説明の本文に近いページ上部か, 下部に収める。

本文との間を 1 行空ける。

図表は、タイトルページには配置しないようお願いいたします。

図表は、上部か下部に配置して本文中に入れこまないようお願いいたします。

参考文献 体裁上のお願い (テンプレートより一部抜粋)

6. 参考文献

8 pt, 行間は固定値 12 pt.

文献の引用は通し番号 1), 2,3), 4-6) を付け, 引用部に上付きで表記する⁷⁾。リストは論文の末尾に一括する。

書き方は原則として, **英文表記を最初に, 改行して和文も併記する。英文および和文表記とも「著者名, 表題, 雑誌名, 巻(年) 始頁-終頁」**の順とし, 全著者名を表記することを原則とするが, 共著者 4 名以上の場合は筆頭著者のみ表記し, 以下を「ら/et al.」と略してもよい。

本会誌, 本会概要集を文献として引用する場合は下記の英文名を使用する。他の学会誌に投稿する場合も同様。

「低温工学」= TEION KOGAKU

「低温工学・超電導学会概要集」

= Abstracts of CSSJ Conference (第 85 回以降)

= Abstracts of CSJ Conference (第 84 回以前)

2011 年 4 月の学会名称の変更により。

以下に例を示す。

参 考 文 献

- 1) O. Ozaki, et al.: “Development of NbTi superconducting magnet for generating uniform magnetic force fields,” TEION KOGAKU **37** (2002) 271-278 (in Japanese)
尾崎 修ら: 「均一磁気力場発生用 NbTi 超電導マグネットの開発」, 低温工学 **37**(2002) 271-278
- 2) K. Okamura, M. Kiuchi, E.S. Otabe, T. Yasuda, T. Matsushita and S. Okayasu: “Pinning property of Bi-2212 single crystals with columnar defects,” Abstracts of CSJ Conference **68** (2003) 3
岡村和憲, 木内 勝, 小田部荘司, 安田 敬, 松下照男, 岡安 悟: 「柱状欠陥を導入した Bi-2212 単結晶のピンニング特性」, 第 68 回 2003 年度春季低温工学・超電導学会講演概要集 (2003) 3
- 3) T. Ohkuma and Y. Iwata: “Superconducting fault current limiter,” J. IEE Japan **117** (1997) 222-226 (in Japanese)
大熊 武, 岩田良浩: 「超電導限流器」, 電学誌 **117** (1997) 222-226
- 4) K. Yoshida, K. Ikeda, K. Saito and Y. Kanda: “Application of superconducting stropelines to traveling-wave type LiNbO₃ optical modulator,” IEEE Trans. Appl. Supercond. **E76-C** (1993) 1287-1290

単行本の場合は, 著者名, 書名, 出版社, 所在地 (年) 始頁-終頁を書く。

- 5) R.F. Barron: “Cryogenic Systems (2nd Ed.),” Clarendon Press, Oxford (1985) 409
- 6) (社)低温工学協会 編: 「超伝導・低温工学ハンドブック」, オーム社, 東京 (1993)

ウェブサイト, ウェブページ, ブログ等の場合は, 著者名: 「ウェブページの題名」, ウェブサイトの名称 (更新日付: 明記されている場合「更新」を付記)。URL (入手日付: 「参照」または「accessed」を付記) を記載する。

- 7) 文部科学省大規模研究開発事業「ターゲットタンパク研究プログラム」: 「タンパク 3000 プロジェクト」
http://www.tanpaku.org/pdf/protein3000/pamphlet_j.pdf (参照 2016-06-06)

ウェブサイト、ウェブページ、ブログ等の場合は上記ご参照ください。

英文および和文表記とも「著者名, 表題, 雑誌名, 巻(年) 始頁-終頁」の順で記載をお願いいたします。

スペース無しをお願いいたします。

巻は太字をお願いいたします。号は省略となります。

「et al.」の前は「, (カンマ)」を入れてください。

タイトルの前は、英文和文共に「: (コロン)」をお願いいたします。

英語表記の最後の著者名の前は「, 」ではなく「and」をお願いいたします

英文タイトルの初めと終わりは、「 ” 」とし、タイトル終わりには「, (カンマ)」をつけてください。

英語表記のタイトルは、初頭文字以外小文字をお願いいたします。

3文字の著者名は4文字取りになるようスペースをお願いいたします。

文献最後は「.」等は無しをお願いいたします。